

福岡日英協会主催



シェイクスピアの英国ルネサンス時代の 音楽を古楽器演奏で巡るセミナー

福岡日英協会は、W. シェイクスピアの生きた時代に劇場等で演奏された音楽を知るためのセミナーを以下の通り開催いたしますので、ご案内いたします。

今年記念すべき没後 400 周年を迎えたシェイクスピアが生きた 16~17 世紀は、英国を含むヨーロッパ全体で芸術や文化の革新運動としてのルネサンスが勃興していたときでした。音楽も例外ではなく、宗教音楽のみならず世俗の音楽もルネサンスの震源地イタリアから影響を受け、新しい音楽が台頭しました。例えば、当時の室内楽に盛んに用いられたヴィオラ・ダ・ガンバの伴奏付きの独唱歌曲(リュート歌曲)などが生まれ、演劇の世界にもさまざまな影響を与えました。当時の英国の演劇は、劇的な要素を高めるための歌とリュート演奏や器楽合奏を随所にちりばめ、『お気に召すまま』や『オセロー』などのシェイクスピア劇でも歌とリュート演奏は不可欠な要素となっていました。

今回のセミナーでは、シェイクスピア研究に長年携わってこられた古屋先生に、お知り合いの演奏家の方々と一緒に、シェイクスピアの生きた英国ルネサンス時代の音楽について、当時の楽器や歌、音楽に対する考え方、文学と音楽の関わり、シェイクスピア劇での音楽の役割などについて解説していただきながら、実演の古楽器の音色と歌を楽しんでいただきます。当協会ではあまりイギリス音楽についてのセミナーを開催したことはありませんでしたが、今回イギリス文学と併せてイギリス音楽を味わう時間を皆さまと共有できれば、と思います。多数の皆さまのご来聴をお待ちします。

◇ 講師：古屋 靖二氏 西南学院大学名誉教授

福岡日英協会理事、当協会主催シェイクスピア・セミナー講師

友情出演演奏家 (敬称略)：橘 直貴(ヴィオラ・ダ・ガンバ)、

廣末 真也(バロック・ヴァイオリン)、宮園 智子 (リュート)

島田 奈津子(ソプラノ)、山本 庸子(電子チェンバロ)

◇ 日時：2016年11月15日(火) 午後6:30~8:00

◇ 会場：西銀ビル13F.: NCBリサーチ&コンサルティング 会議室

福岡市博多区下川端町2-1 Tel.:092-282-2662 博多座横

◇ 会費：会員 500円 / 非会員 1,500円 (当日会場にてお支払い)

◇ 定員：40名 (先着順)

◇ お申込み方法：①出席者の氏名(法人会員は会社名も)と②電話番号(当日連絡可能なもの)を裏面に記入の上、FAXまたは電話・Eメールにてお願いします。

お問い合わせ先：福岡日英協会 電話 :092-476-2155 /FAX: 092-476-2634

Email : fjbs.event@castle.ocn.ne.jp (担当：河部・汐田)

FAX 092-476-2634

福岡日英協会 行



2016年11月15日(火)セミナー申込書

「シェイクスピアの英国ルネサンス時代

の音楽を古楽器演奏で巡るセミナー」

参加者氏名: _____ 一般会員・法人会員(社名: _____)・非会員

ご同伴者氏名: _____ 一般会員・法人会員(社名: _____)・非会員

当日連絡可能なお電話番号: _____

申込み〆切2016年11月4日(金)

* 頂いた個人情報は厳重に管理し、福岡日英協会の活動以外の目的には使用いたしません。